

枚方市と枚方市職員労働組合の団体交渉の要旨

1. 日 時 令和5年6月14日（水） 午後7時15分～午後8時40分
2. 場 所 枚方市職員会館 大会議室
3. 出席者 組合側：執行委員長以下約30名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、
教育政策課長、上下水道総務室総務課長、市立ひらかた病院総務課長、
書記（人事課・職員課 課長代理）
4. 課 題 「2023年予算・人員要求書」に基づく交渉（1回目）

<交渉内容要旨>

I. 必要な人員の確保について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 組合員のアンケートでは、「人員不足である」が約9割、「毎日非常に疲れる」が約7割という結果であった。 切実な職場の実態を踏まえた人員の確保が必要であると考えているが、どのように認識しているのか。 ・ 令和5年度末の退職数の見込みを教えてください。また、再任用職員で更新しない職員や早期退職者の人数はどの程度見込んでいるのか。 現在の人員不足を解消するためにも、退職予定数を上回る採用をすべきであるが、どのように考えているのか。 ・ 保育士、調理員、ケースワーカー、査察指導員等についても人員が不足しており、現場では超勤で対応するなど負担も大きい。また、新たな事業など業務の増加があれば、人員も増員し、市民サービスの低下にならないようにすべきである。人員が足りない職場に、きちんと配置するのは当局の責任だと考えるが、どのように認識しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場ごとに状況は異なるが、実態に応じて引き続き適正配置に努めていく。 ・ 令和5年度末は、定年引上げにより定年退職者は発生しないものの、再任用更新限度を迎える職員は、外郭団体等を含め35人であり、再任用職員のうち、更新希望がなかった者は昨年度実績で16人であった。近年の実績から、一定数の採用を見込んでいく。 ・ 各職場の実態を精査し、適正配置に向けて、引き続き検討していく。

<ul style="list-style-type: none"> • ひらかた子ども発達支援センターのセラピーや放課後オープンスクエアについても人員が足りない。計画的な人員の確保が必要であると考えるが、どのように認識しているのか。 • 図書館業務について、業務量が多く人員が足りない。経験者の退職もあり、業務内容の継承が出来ない。専門的な業務も多く司書枠での採用を求める。 • 管理職の配置について、50人程の職場に対し、課長代理1人の配置となっている職場があるが、管理職の定数など、組織の体制としてどのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き適正配置に努めていく。 • 職の専門性は認識している。今後も効率的な運営が可能となるよう適正配置に努めていく。 • グループ編成など、体制の課題として認識している。
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------